

各学部の授業づくり

授業づくりスパイラル 上昇中!

学びの重層化
アップデート

1月
研修会

知的中
社会科

肢体高
外国語科

知的小
音楽科

9月
研修会

肢体中
国語科

知的高
社会科

知的高
外国語科

6月
研修会

肢体小
国語科

知的中
美術科

知的小
体育科

~R6年度

肢体(重度重複
障害)国語科

知的中
美術科

肢体中
音楽科

知的高
音楽科

今年度も私たちは、授業づくりをする中で壁にぶつかり、悩むことが多くありました。しかし、その試行錯誤の中で「そういうことか!」という発見(ターニングポイント)を得ることが、学びを深める鍵となりました。

そして、今年度のもう一つの大きな成果は、学部や部門の垣根を越えた「先生たちの学び合い」。仲間の授業から得た気づきを自分の授業に生かすことで、私たちの指導力もアップデートされ、学びが豊かに重なり合いました。

これからも私たちは、子どもたちが「教科の見方・考え方」を働かせ、深く学ぶことができる各教科の授業づくりに挑み続けます。

肢体小学部

国語科(小学部1段階)

リズムにのって読んでみよう
~いちにのさんぽ~

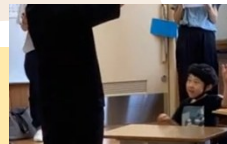
身に付けたい資質・能力

言葉を使って気持ちや思考を伝え合ったり、言葉で物事を知ったりする



構想、指導案検討で大事にしたこと

- ・「言葉」に気づき、関心をもつ
- ・次の言葉への期待、動作で表現する姿を引き出すために特定の言葉の後に間を設ける



ターニングポイント

絵本にちなんだ遊びで楽しく活動することだけでなく、遊びを通して「言葉」のもつおもしろさに気付くことをねらう

本時の授業

本時の探究課題

「こんにちは」ってできるかな?

- ・物語の展開を期待して、キーワードの「こんにちは」を自分なりの言葉・身振りで表現
- ・いつもと違う雰囲気になっていた児童が、絵本の言葉を語りかけることで表情がゆるむ・・・自分に向けられた教師の言葉に気づき、絵本の空間に引き込まれていった



新井教授の助言



「音楽と言葉があふれる日常の空間」から「言葉の響きとリズムに注目する国語の授業」へと移りゆくプロセスを意図的に作り出す

言語の情緒的側面に着目し、人と人とがつながり、共通の空間を作り出す言葉の働きを感じることで、言葉を学習する本質的な意味

この単元での深い学び

絵本の中の言葉が飛び交う中で、児童が絵本の世界に溶け込み、言葉の面白さに気付いて耳を傾ける



授業者の学びと授業改善のポイント

声を作り出す、言葉の働きに注目

「こんにちは」と言えることが目的ではなく、絵本の「いちにのさんぽ」の世界に入り込んで、「こんにちは」で周囲とつながる授業を意識していく。

子どもたちにとって心地よい言葉にあふれる授業づくり

子どもが安心して言葉に気持ちを向けられるように、言葉の選び方・届け方を考えていく。